

Shionogi Business Report



2015年度 第151期 上期 2015年4月1日～2015年9月30日

証券コード：4507

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社グループの2015年度上期における事業活動の概況についてご報告いたします。

2015年度の取り組み

グローバル規模で進む超高齢化などを背景に、社会保障費抑制策が進む厳しい環境のなかで、当社グループは昨年4月より、「創薬型製薬企業として成長する」ことをビジョンに掲げ、2020年に向けた中長期的な成長戦略である中期経営計画「Shionogi Growth Strategy 2020 (SGS2020)」の達成を目指して邁進しています。

その2年目となる2015年度は、1年目の結果を踏まえた上で、「基盤となる国内ビジネスの強化」「グローバル新製品の育成力向上」「ロイヤリティーに依存しない経営体制の構築」の3つの経営課題に取り組んでいます。

2015年度上期の成果

① 基盤となる国内ビジネスの強化

国内におきましては、患者さまを軸とする医療ニーズに応じたコミュニケーションを進化させ、活動の優先順位を明確にすることで戦略8品目の価値最大化を図り、利益創出に取り組みました。特に、抗うつ薬「サインバルタ」については、5月に「線維筋痛症に伴う疼痛」の適応を取得し、うつ領域に加え、疼痛領域における製品価値の拡大につなげることが出来ました。

② グローバル新製品の育成力向上

将来の成長を支える開発品については、オピオイド系鎮痛薬による副作用緩和薬(ナルデメジン/S-297995)のステージが順調に進捗するとともに、新規のメカニズムを有するインフルエンザ感染症治療薬(S-033188)が「先駆け審査指定制度」の対象に指定*されました。創薬型製薬企業としての要である開発品が自社創製の開発化合物を中心に充実してきています。 ※中面「開発品の状況」をご参照下さい。

③ ロイヤリティーに依存しない経営体制の構築

今年度より開始した「サインバルタ」の国内における新たなスキームが売上原価の低減に大きく寄与しました。また、当社グループの企業風土として根付いてきた効果的なコストコントロールを継続的に推進した結果、今期におけるロイヤリティーを除く営業利益が期初の計画を上回りました。

上記の活動により、2015年度上期の業績は、売上高1,383億円、営業利益339億円、経常利益348億円、親会社株主に帰属する四半期純利益214億円となり、利益面につきましては、いずれも過去最高益を達成しました。

2015年度下期の取り組み

下期につきましても引き続き3つの経営課題に取り組むことで、2015年度営業利益のロイヤリティー収入を除いた黒字を達成できるよう、誠実にそして果敢に挑戦してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長

代表取締役社長

塩野元三

手代木功

中期経営計画(SGS2020)のビジョン

創薬型製薬企業として成長する

シオノギが考える創薬型製薬企業

- ・First in Class、Last in Classの創薬研究に取り組んでいる
- ・日米欧連に開発・販売拠点を有している
- ・上記の創薬研究・開発から生み出された新薬および情報をグローバルに提供している

—FIC—

First in Class
特に新規性・有効性が高く、従来の治療体系を大幅に変える
独自の医薬品

—LIC—

Last in Class
同様のメカニズムで
明確な優位性をもち、
他の新薬の追随を許さない
医薬品

シオノギの基本方針(1957年制定)

シオノギの目的

シオノギは、常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する。

そのために

- 益々よい薬を創り出さねばならない。
- 益々よい薬を造らねばならない。
- 益々よい薬を益々多くの人々に知らせ、使って貰わねばならない。
- 創り、造り、売ることを益々経済的にやりとげねばならない。

そのために

シオノギの人々のあらゆる技術が日々休むことなく向上せねばならない。
シオノギの人々が、人間として日々休むことなく向上しなければならない。

その結果

シオノギの人々は日々の仕事と生活に益々生甲斐を感じる。
シオノギの人々の生活の仕方が益々改善せられる。
シオノギの人々の生活が益々豊かになる。

活動報告

2015年度上期業績のポイント

売上高

1,383億円 (前期比 6.5% ↑)

営業利益

339億円 (前期比 49.4% ↑)

経常利益

348億円 (前期比 10.7% ↑)

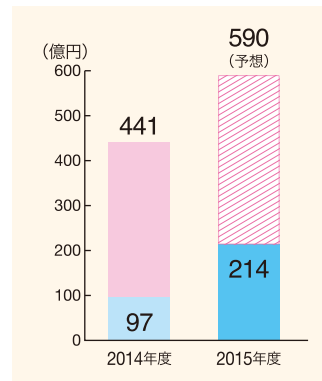
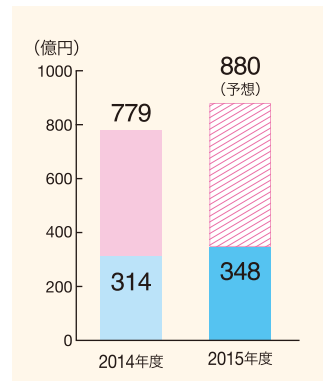
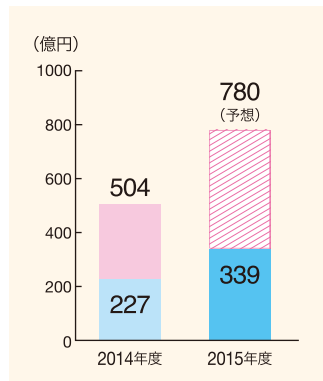
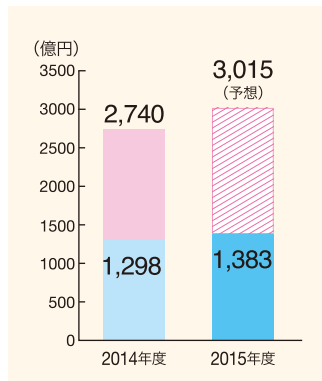
親会社株主に帰属する四半期純利益

214億円 (前期比 120.2% ↑)

過去最高

4年連続過去最高

過去最高



■ 通期 ■ 上期

- 国内医療用医薬品は、「クレストール」「イルベタン」の販売が堅調に推移するとともに、4月から契約変更を実施した「サインバルタ」も順調に拡大し、これら戦略3品目の貢献により前期比で1.9%増加しました。
- 海外は、米国において「オスフィーナ」の販売が拡大し、前期比で6.7%増加しました。
- 製造受託は、「サインバルタ」の契約変更などの影響により、前期比で46.1%減少しました。
- ロイヤリティー収入は、HIVフランチャイズのグローバルでの販売が大きく拡大し、「クレストール」のロイヤリティー収入の減少をカバーして、前期比32.4%増加しました。

- 売上高の増加に加え、主に「サインバルタ」の契約変更に伴う売上原価の減少により、売上総利益は前期比11.0%増加しました。
- グループ全体で、継続的なコストコントロールに取り組んだことで販売費及び一般管理費は、前期比1.6%減少しました。

- 経常利益は前期にViiV社からの受取配当金を計上していたため、前期比では10.7%の増益にとどまりましたが、4年連続過去最高益を達成しました。

- 前期は過年度法人税等を計上したため、120.2%の大幅増益となりました。

HIVフランチャイズ(テビケイ、トリーメク)の順調な拡大

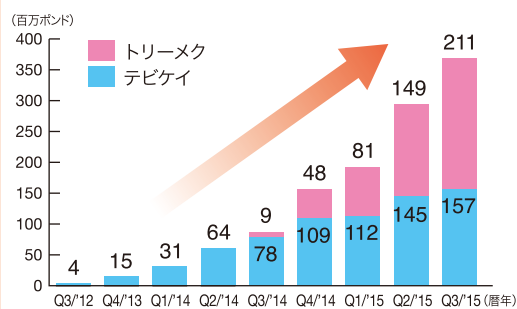
有効性、安全性、利便性に優れ、耐性ウイルスの発現を起こしにくいことから、日本を含む、全世界で販売が順調に拡大しています。

ViiV社からの

- ロイヤリティー収入が、今期から本格的に業績に貢献しています。
- 年間配当金は、第4四半期に営業外収入として計上予定です。

- ・グローバル承認国：米、欧、日、他48カ国 (2015年10月)
- ・グローバル売上高：8.6億ポンド (2015年1-9月)

HIVフランチャイズのViiV社売上の推移



為替レート (期中平均)	2014年度 実績	2015年度 上期実績
ドル	109.76円	121.88円
ユーロ	138.69円	135.11円
ポンド	176.68円	187.91円

財政状況等その他詳細については、当社ウェブサイトをご参照ください。 <http://www.shionogi.co.jp/ir/library/materials.html>

2015年度通期業績予想の修正

売上高につきましては、HIVフランチャイズの順調なグローバルでの販売拡大がロイヤリティー収入を押し上げることで、従来予想を上回る見通しです。

利益面につきましては、先述のロイヤリティー収入の増加に加え、ViiV社からの配当金の増加が予想されることから、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、それぞれ従来予想より増加する見通しです。

2015年度通期連結業績予想

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2015年度当初	2,960	725	795	520
2015年度修正	3,015	780	880	590
増減額	55	55	85	70

為替レート (期中平均)	ドル	ユーロ	ポンド
2015年度前提 (当初)	120円	130円	175円
2015年度前提 (修正)	120円	130円	180円
差異	—	—	5円

トピックス

自社創製品

4月 欧州にイタリアオフィス開設

閉経後膣萎縮症治療薬「センシオ」を販売することでイタリアの医療に貢献するとともに、産学連携活動としてシオノギサイエンスプログラムに取り組むことで、シオノギグループの欧州におけるプレゼンスを向上させます。

6月・8月 オピオイド系鎮痛薬による副作用緩和薬「ナルデメジン(S-297995)」良好なフェーズIII試験結果を発表

・6月：がん性疼痛患者対象有効性試験（日本）
 ・8月：非がん性慢性疼痛患者対象有効性試験（グローバル）
 ナルデメジンの有効性を評価するすべてのフェーズIII試験で良好な結果が得られております。今後、2015年度内の日米同時申請を目指します。



自社創製品

5月 「サインバルタ」線維筋痛症に伴う疼痛に対する適応の追加取得

全身の疼痛（痛み）を主症状とした線維筋痛症の患者さまの痛みの軽減に貢献し、製品価値の向上を図ります。

9月 血小板減少症治療薬「ムルプレタ錠3mg」国内製造販売承認を世界に先駆けて取得

これまで慢性肝疾患により血小板が減少している患者さまが出血を伴う外科的処置を受ける際には、血小板輸血を受ける必要がありました。「ムルプレタ」の承認により、経口剤による新たな治療法の選択肢が増えると同時に、血液製剤に由来するリスクの軽減が期待されます。

6月 国際製薬団体連合会 (International Federation of Pharmaceutical Manufacturers & Associations : IFPMA) に加盟

今回IFPMAに加盟したことにより、世界の業界団体や製薬企業の情報を、より正確かつタイムリーに入手することが可能となります。また、グローバルに医薬品をお届けする創薬型製薬企業の一員として世界各地域とのネットワークが強化され、シオノギグループのプレゼンス向上が期待されます。

IFPMA（設立：1968年、本拠地：スイス・ジュネーブ）：

ファイザー、武田薬品をはじめとした31のグローバル企業と、52の業界団体が加盟する研究開発志向型の世界的な非営利・非政府系組織

開発品の状況 (2015年10月現在)

優先すべき開発品の「選択と集中」により、国内外で開発のスピードアップを図っています。また、インフルエンザ感染症治療薬「S-033188」につきましては、10月27日、その新規作用機序が画期的であり、極めて高い有効性が期待されることなどから、厚生労働省の「先駆け審査指定制度」の品目に指定されました。薬事承認において優先的に取り扱われることで、審査期間の大幅な短縮が見込まれます。当社の主要開発品の状況は以下のとおりです。

領域	開発No. 一般名 「製品名」	適応症	ステージ					: 国内開発品 : グローバル開発品 : 自社創製品
			フェーズ I	フェーズ II	フェーズ III	申請	承認	
感染症	S-649266	重症細菌感染症	[Progress bar]					
	S-033188	インフルエンザ感染症	[Progress bar]					
疼痛・神経	「サインバルタ」	慢性腰痛症に伴う疼痛	[Progress bar] (2014年12月)					
		変形性関節症に伴う疼痛	[Progress bar] (申請準備中)					
	ナルデメジン(S-297995)	オピオイド副作用緩和	[Progress bar] (申請準備中)					
	S-877503	ADHD (注意欠如・多動症)	[Progress bar] (申請準備中)					
	S-877489		[Progress bar]					
	「オキシコンチン」	慢性疼痛における鎮痛	[Progress bar]					
フロンティア	「ムルプレタ」(S-888711)	血小板減少症	[Progress bar] (2015年9月)					
	ルストロンボパグ(S-888711)		[Progress bar]					
	S-524101	ダニ抗原による小児通年性アレルギー性鼻炎	[Progress bar]					

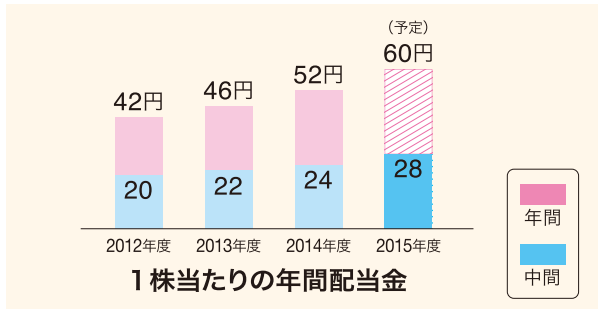
フェーズI：同意を得た少数の健康成人を対象とし、被検薬の体内動態と安全性を確認します。

フェーズII：同意を得た少数の患者を対象とし、被検薬の有効性と安全性を検証し、投与量や投与方法などを確認します。

フェーズIII：同意を得た多数の患者を対象とし、被検薬の有効性と安全性を確認します。

株主還元について

1株当たりの中間配当金
28円



今中間配当は、期初の予定通り1株当たり28円となります。
また、通期業績予想修正の背景と財務状況などを勘案し、期末配当金を当初予定より4円増配の32円とし、2015年度の年間配当金は1株当たり60円と前期比で8円の増配となる予定です。
当社グループは、今後もビジネスオペレーションの強化によって得られた利益を、成長を共に実感していただけるよう株主の皆さまへ還元するとともに、将来に向けた成長投資や戦略的な事業投資にバランスよく配分することで経営基盤の強化に取り組み、企業価値の最大化につなげてまいります。

解熱鎮痛薬「セデス」の期間限定パッケージ品発売について

胃にやさしくて、よくある痛みや発熱に効く「新セデス錠」の持つ優しいイメージや、シャープな効き目ですぐに止めたい痛みに速く良く効く「セデス・ハイ」の効き目の良さという製品特性をモチーフにした期間限定パッケージ品を発売しました。
(発売期間：2015年7月8日～2016年1月31日)

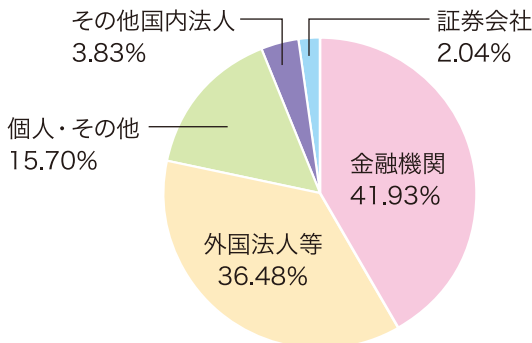
自分の痛みにあった解熱鎮痛薬をお選びいただきたいという思いを込めるとともに、新たなお客さまにも手に取っていただきやすい小容量の10錠包装としています。



シオノギグループの国内におけるコンシューマーヘルスケア事業につきましては、2016年1月に新会社「シオノギヘルスケア株式会社」を設立し、2016年4月から事業を開始する予定です。

株式の状況 (2015年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 1,000,000,000株
- 発行済株式の総数 351,136,165株
- 株主数 25,570名
- 所有者別株式分布



(注)所有者別株式分布状況は自己株式を「個人その他」に含めて、表示しております。

株主メモ

- ◇事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ◇定時株主総会 6月
- ◇基準日 定時株主総会：3月31日 期末配当金：3月31日
中間配当金：9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- ◇単元株式数 100株
- ◇公告掲載方法 電子公告
当社インターネットホームページ (<http://www.shionogi.co.jp/ir/announcement.html>) に掲載しています。
- ◇上場証券取引所 東京
- ◇証券コード 4507
- ◇株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社 (東京都千代田区丸の内1丁目4番1号)
- ◇同事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (大阪市中央区北浜4丁目5番33号)
(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(インターネットホームページ) 三井住友信託銀行インターネットホームページ <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

《株式事務手続のご案内》

- ◆住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等のお届出およびご照会先

証券会社等の振替口座で保有されている株式に関する手続	株主様が口座を開設されている証券会社等
特別口座に記録された株式に関する手続	当社が特別口座を開設している三井住友信託銀行 (ご照会先は上記の電話照会先をお願いいたします。)

